

2024年6月19日 全8頁

Indicators Update

2024年5月貿易統計

欧州向け自動車輸出が下振れし輸出数量は減少に転じる

経済調査部 エコノミスト 岸川 和馬

[要約]

- 2024年5月の貿易統計によると、輸出金額は前年比+13.5%と6カ月連続で増加し、コンセンサス（同+12.7%、Bloomberg調査）を小幅に上回った。季節調整値では前月比+1.2%と3カ月連続で増加した。他方、輸出の実勢を表す輸出数量（大和総研による季節調整値、以下同）は自動車輸出の下振れを主因に減少した。輸入金額は前年比+9.5%と2カ月連続で増加し、季節調整値では前月比+1.5%と2カ月ぶりに増加した。貿易収支は▲1兆2,213億円と2カ月連続の赤字となり、季節調整値では▲6,182億円と36カ月連続の赤字となった。
- 5月の輸出数量は前月比▲4.1%と3カ月ぶりに減少した。欧州向けの自動車が増減し全体を大きく押し下げたとみられる。自動車輸出は前年比で見れば+13.6%と半導体不足の解消により高い伸びとなったが、前月比では再び減少に転じた。輸出数量全体を地域別に見ると、米国向け（前月比▲0.1%）、EU向け（同▲9.9%）、アジア向け（同▲3.0%）のいずれも減少した。
- 先行きの輸出数量は緩やかな増加基調に転じるとみている。米国の民需は底堅く、欧州では2024年後半から25年1-3月期にかけてGDP成長率が加速する見込みだ。またシリコンサイクル（世界半導体市場に見られる循環）の回復による半導体関連財の輸出増にも期待できる。なお、一部の自動車メーカーによる型式指定の申請不正が輸出数量に与える直接的な影響は軽微とみている。

【貿易金額】輸出が低調となり貿易収支（季節調整値）は36カ月連続の赤字に

2024年5月の貿易統計によると、輸出金額は前年比+13.5%と6カ月連続で増加し、コンセンサス（同+12.7%、Bloomberg調査）を小幅に上回った（**図表1**）。輸出金額全体の季節調整値は前月比+1.2%と3カ月連続で増加した。輸出価格が大幅に上昇した一方、輸出の実勢を表す輸出数量（大和総研による季節調整値、以下同）は減少した（**図表2左**）。輸出数量の減少は欧州向けの自動車の下振れによるところが大きい。自動車産業では4月に国内の生産体制がおおむね正常化したにもかかわらず回復が腰折れした格好だ。

輸入金額は前年比+9.5%と2カ月連続で増加した。石油製品（同+39.8%）や原油及び粗油（同+8.1%）などが押し上げたほか、液化天然ガス（同+9.1%）が2カ月連続で増加した。他方、石炭（同▲17.5%）は13カ月連続で減少した。中東情勢の緊迫化による一部商品価格の高止まりもあって、エネルギー品目間で輸入額の変化のばらつきが大きい状況が続いている。輸入金額全体の季節調整値は前月比+1.5%と、輸入価格の上昇により2カ月ぶりに増加した。

以上を受けて貿易収支は▲1兆2,213億円と2カ月連続の赤字となり、季節調整値では▲6,182億円と36カ月連続の赤字となった（**図表3**）。2023年央から交易条件の改善が足踏みしていることもあって（**p.6**）、このところの貿易収支（季節調整値）は6,000億円前後で推移している。

図表1：貿易統計の概況

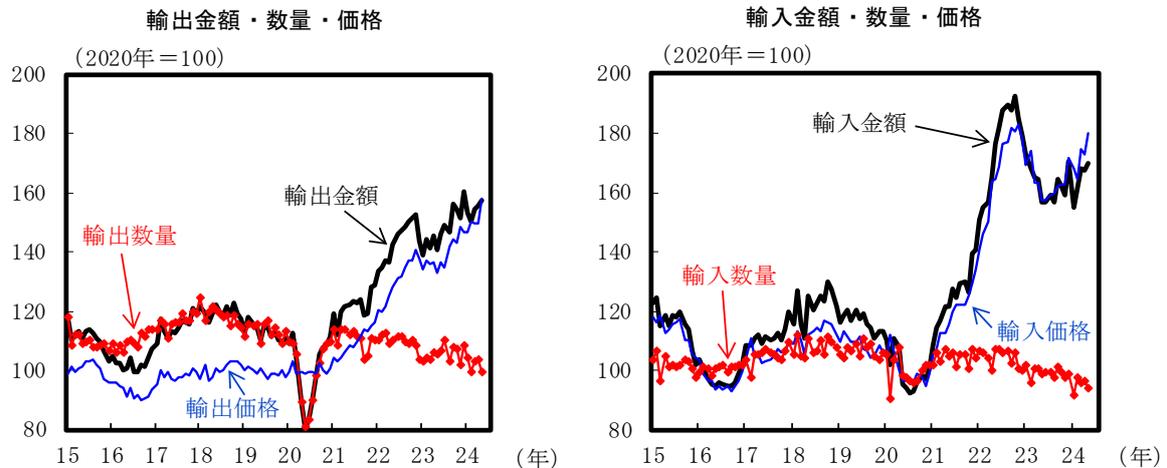
		2023年				2024年				
		9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
原系列 前年比 %	輸出金額	4.3	1.6	▲0.2	9.7	11.9	7.8	7.3	8.3	13.5
	コンセンサス									12.7
	DIRエコノミスト予想									13.0
	輸入金額	▲16.5	▲12.4	▲11.8	▲6.8	▲9.7	0.6	▲5.1	8.3	9.5
	輸出数量	0.2	▲3.4	▲5.6	2.9	2.3	▲1.5	▲2.1	▲3.2	▲0.9
	価格	4.1	5.2	5.8	6.6	9.4	9.5	9.6	11.9	14.5
季節 調整値 前月比 %	輸入数量	▲3.9	▲3.2	▲3.4	▲3.1	▲8.4	1.3	▲9.7	0.7	▲1.9
	価格	▲13.1	▲9.5	▲8.8	▲3.8	▲1.4	▲0.8	5.1	7.6	11.6
	貿易収支(億円)	606	▲6,682	▲7,883	589	▲17,665	▲3,830	3,824	▲4,656	▲12,213
	輸出金額	6.4	▲1.2	▲1.8	5.7	▲4.4	▲1.7	2.7	0.9	1.2
	数量	4.6	▲0.6	▲5.0	6.7	▲4.1	▲4.3	3.3	0.8	▲4.1
	価格	1.7	▲0.6	3.4	▲1.0	▲0.3	2.7	▲0.6	0.1	5.5
季節 調整値 前月比 %	輸入金額	4.9	▲1.4	▲1.9	7.1	▲9.0	4.3	3.9	▲0.4	1.5
	数量	3.4	▲1.7	▲1.9	1.3	▲7.0	6.5	▲1.8	0.5	▲2.6
	価格	1.5	0.3	0.0	5.7	▲2.1	▲2.1	5.8	▲0.9	4.2
	貿易収支(億円)	▲3,965	▲3,771	▲3,600	▲5,081	▲445	▲5,704	▲6,953	▲5,813	▲6,182
税関長公示レート		146.44	148.88	150.34	146.92	143.95	148.18	149.45	151.66	155.48

(注1) 税関長公示レートは円/ドルレート。コンセンサスはBloomberg。

(注2) 数量と価格の季節調整値は大和総研による。

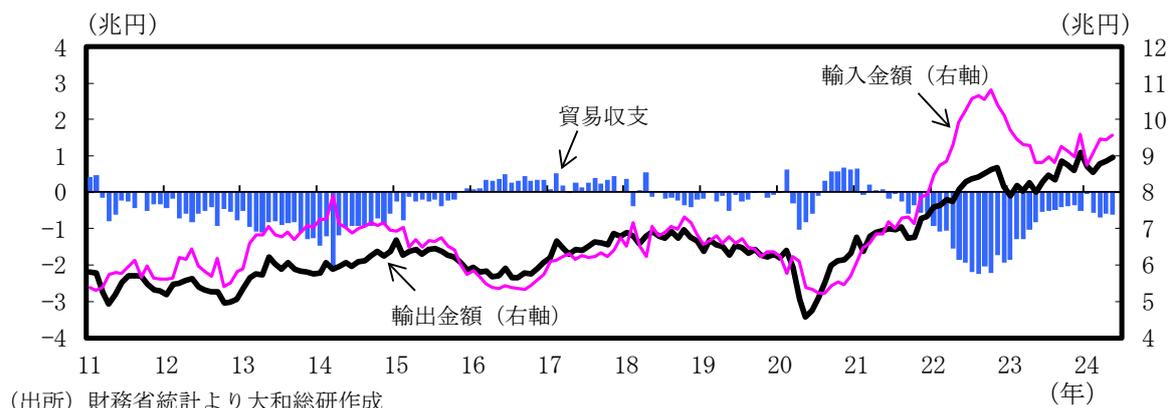
(出所) 財務省、Bloombergより大和総研作成

図表 2：輸出金額・数量・価格、輸入金額・数量・価格（季節調整値）



(注) 輸出数量、輸入数量、輸出価格、輸入価格の季節調整は大和総研。
 (出所) 財務省統計より大和総研作成

図表 3：輸出、輸入、貿易収支（季節調整値）



(出所) 財務省統計より大和総研作成

【輸出数量】自動車は足を引っ張り輸出数量全体は3カ月ぶりに減少

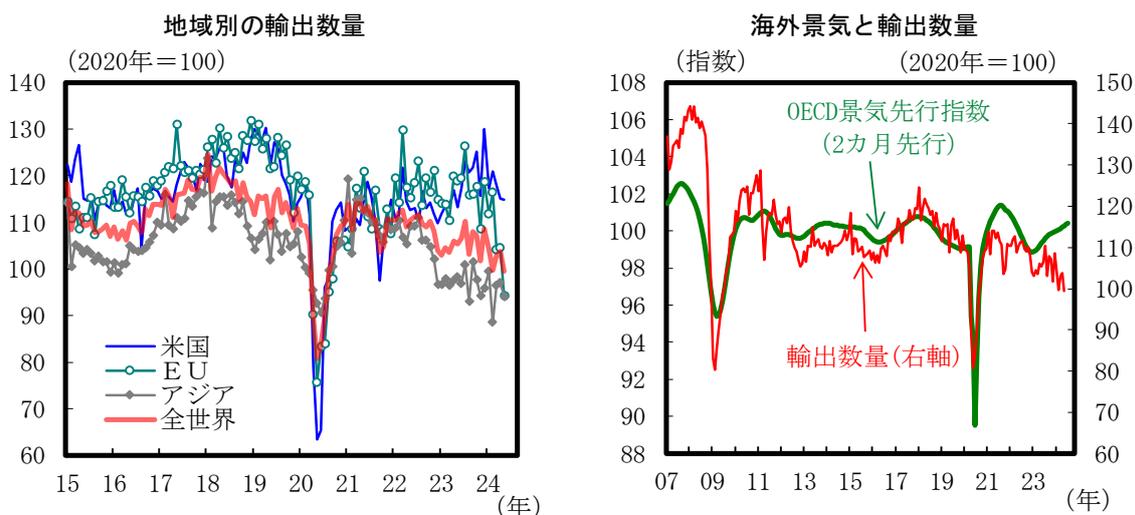
5月の輸出数量は前月比▲4.1%と3カ月ぶりに減少した。欧州向け自動車輸出が減少し全体を大きく押し下げたとみられる。自動車では一部メーカーの型式指定の申請不正（認証不正）などの問題で1-3月期に国内生産が停滞したのち、4月には供給体制がおおむね正常化したことで輸出数量が増加した。5月は前年比で見れば+13.6%と半導体不足の解消により高い伸びとなったが、前月比では再び減少に転じた。輸出数量全体を地域別に見ると、米国向け（前月比▲0.1%）、EU向け（同▲9.9%）、アジア向け（同▲3.0%）のいずれも減少した。

米国向けは3カ月連続で減少した。医薬品や自動車の部分品、二輪自動車、プラスチックなどが全体を押し下げた。後述するように米国の内需が伸び悩む中で幅広い財の輸出が減少した。他方でこのところ低調だった自動車が3カ月ぶりに増加し、2023年12月以来の高水準となった。ハイブリッド車の販売が好調だったとみられる。

EU向けは2カ月ぶりに減少した。自動車輸出の減少が全体を大きく押し下げた。EU向けの自動車輸出は、欧州各国による電気自動車（EV）向けの補助金などを背景に2023年末まで回復基調にあったが、足元にかけてはその反動もあって伸び悩んでいる。その他の品目では、半導体等製造装置や振れの大きい鉄鋼が減少した一方、バス・トラックや医薬品が増加した。

アジア向けは3カ月ぶりに減少した。中国向け（前月比▲0.6%）の半導体等製造装置が全体を押し下げたとみられる。その他の地域向けでは、自動車、非鉄金属、電算機類（含む周辺機器）および同部分品などが減少した。なお自動車輸出は中国向けに限ってみれば好調であり、米国向けと同様に2023年12月以来の高水準となった。

図表4：地域別の輸出数量、海外景気と輸出数量（季節調整値）



【見通し】自動車不正による輸出への影響は軽微か／米利下げ開始の遅れなどが重しに

先行きの輸出数量は緩やかな増加基調に転じるとみている。米国向け輸出は底堅く、需要の軟調さが続いてきた欧州では2024年後半から25年1-3月期にかけて成長率が加速する見込みだ。また世界半導体販売額に見るシリコンサイクル（世界半導体市場に見られる循環）の回復による半導体関連財の輸出増にも期待できる。ただし、日本の輸出管理の強化によって中国などに向けた先端技術分野の輸出が減少するリスクには引き続き注意が必要だ。

なお、6月3日に国土交通省が一部自動車メーカーによる認証不正を発表したが、この問題による輸出数量への直接的な影響は軽微とみている。報道によると、トヨタ自動車とマツダが同月6日から生産を停止した5車種の年間生産台数は計14.5万台程度（2023年度）という¹。これは乗用車の生産台数の2%程度にとどまるうえに、対象外の車種で受注残を解消するための挽回生産の継続が見込まれることから、乗用車全体で見れば生産や輸出の増加が続くだろう。なお、一部の不正事例では国内基準に加えて国際基準を満たしていない可能性があるとの報道もある。海外現地生産が停止すれば日本からの自動車部品などの輸出が減少するリスクがある。

輸出の先行きを地域別に見ると、米国向けは当面は横ばい圏で推移するとみている。米国では民需の底堅さが継続しているが、5月の小売売上高は前月比+0.1%と減速感が強まっており、民間設備投資の先行指標である資本財受注（国防、航空機除く）は直近値の4月で同+0.2%（3月は同▲0.2%）と横ばい圏で推移している。消費財や資本財の需要が伸び悩む中、日本からの輸出の加速は当面は見込みにくい状況だ。また、6月の連邦公開市場委員会（FOMC）では、参加者による年内の利下げ幅の想定が3月時点の0.75%ptから0.25%ptに引き下げられた。利下げ開始時期の遅れや利下げペースの鈍化により成長率の持ち直しが後ずれすれば、日本からの輸出にも影響するだろう。

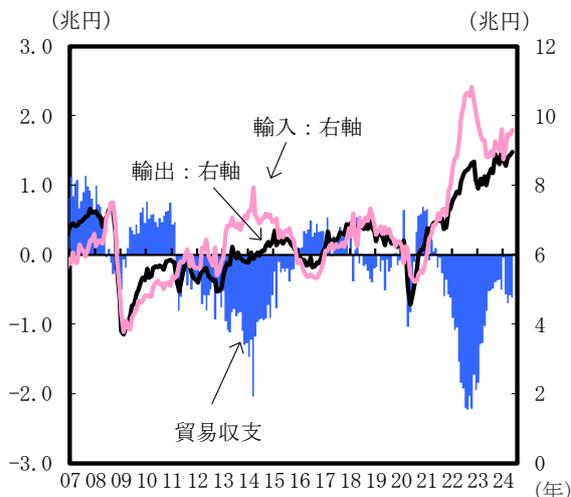
欧州向けは年後半に底を打つとみている。欧州中央銀行（ECB）は、基調的なインフレの鈍化などを背景に6月に主要政策金利を0.25%pt引き下げた。他方、サービス価格や賃金の上昇率は依然として高い。また6月のECB理事会後に公表された声明文で7月会合における追加利下げの有無に言及がなかったことも踏まえると、先行きは四半期に一回程度の緩やかなペースで利下げが進む下で欧州経済の回復が進むとみている。これに伴い日本からの輸出は増加傾向に転じる見込みだが、欧州経済の回復ペースに沿った非常に緩やかな持ち直しにとどまるだろう。

中国向けは緩やかな回復基調を辿るとみている。中国政府と中国人民銀行による不動産不況への対応や、地方政府が打ち出してきた住宅需要刺激策、1兆元規模の超長期特別国債などの効果もあって、内需の回復が日本からの輸出を押し上げよう。もっとも、新築住宅や中古住宅の価格は2022年前半から下落が続いており、不動産不況が長期化している。当面は政策が内需に与える効果を注視する必要があるだろう。

¹ 6月6日付のNHK報道（<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20240606/k10014472151000.html>）によれば、トヨタ自動車で生産停止となった3車種（カローラ フィールダー、カローラ アクシオ、ヤリス クロス）の2023年度の実績生産台数は13万台程度、マツダで対象になった2車種（ロードスターRF、MAZDA2）は同1.5万台程度だった。マツダの2つの工場では、対象車種の海外向けの生産と、他の車種の生産を増やして通常どおり生産を続けているという。

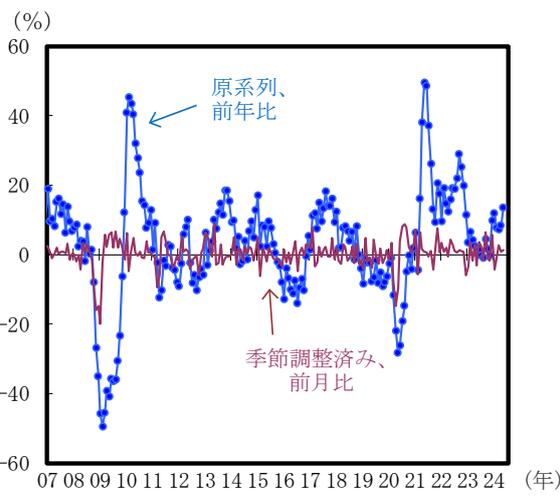
概況

輸出入と貿易収支（名目、季節調整値）

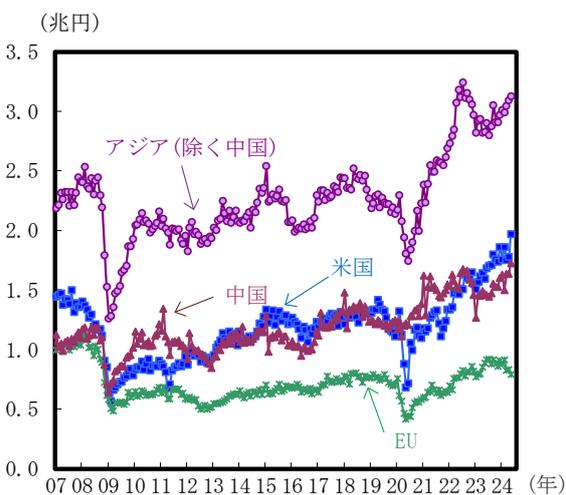


(出所) 財務省統計より大和総研作成

輸出額の変化率（名目）

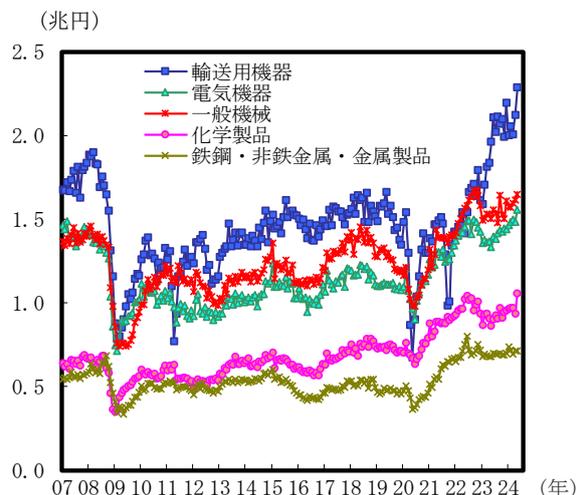


主要地域・国別の輸出額（名目、季節調整値）

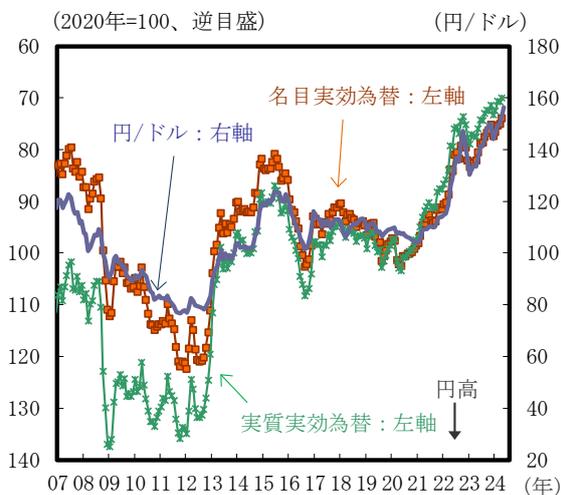


(注) 季節調整は大和総研。
(出所) 財務省統計より大和総研作成

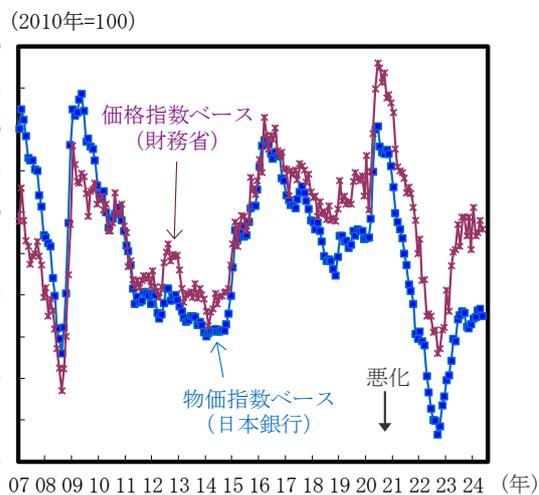
主要商品別の輸出額（名目、季節調整値）



為替相場



交易条件



(注) 交易条件は、輸出価格指数/輸入価格指数（輸出物価指数/輸入物価指数）。輸出入価格指数の直近値は大和総研による試算値。
(出所) 財務省、日本銀行統計より大和総研作成

輸出金額 内訳								
	2023/12	2024/01	2024/02	2024/03	2024/04	2024/05		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	9.7	11.9	7.8	7.3	8.3	13.5	100.0	13.5
食料品	▲5.8	14.3	▲5.6	▲5.4	▲6.7	▲4.9	1.1	▲0.1
原料品	27.0	18.5	21.8	6.9	17.7	17.1	1.8	0.3
鉱物性燃料	▲21.6	▲32.6	▲35.3	▲5.4	16.6	▲13.0	1.1	▲0.2
化学製品	1.8	11.2	4.3	3.8	3.2	22.7	11.9	2.5
原料別製品	▲0.3	8.2	4.6	2.5	6.1	7.0	12.3	0.9
鉄鋼	▲6.4	7.2	▲0.1	▲3.6	▲2.4	▲3.2	4.7	▲0.2
非鉄金属	0.3	7.6	7.1	5.2	17.7	17.6	2.7	0.5
金属製品	6.8	10.3	9.9	9.6	9.3	11.0	1.3	0.1
一般機械	2.0	5.2	3.7	3.9	5.7	9.8	17.8	1.8
電気機器	1.2	7.6	7.7	9.9	8.5	16.9	16.6	2.7
半導体等電子部品	0.7	8.3	6.4	11.3	20.4	24.0	5.8	1.3
I C	5.6	11.4	10.6	15.7	30.1	32.2	4.4	1.2
映像機器	▲3.6	20.8	17.0	14.1	10.7			
映像記録・再生機器	3.3	12.3	20.8	4.0	▲1.4	4.7	0.3	0.0
音響・映像機器の部分品	▲2.7	3.9	▲1.1	▲0.4	0.5	18.7	0.2	0.0
電気回路等の機器	▲6.9	▲4.4	▲0.9	1.5	1.0	8.4	2.0	0.2
輸送用機器	36.6	24.1	20.1	10.3	15.9	16.9	22.0	3.6
自動車	35.9	31.6	19.8	7.1	17.8	13.6	15.9	2.2
自動車の部分品	13.6	22.1	22.6	13.6	6.9	10.9	3.7	0.4
その他	11.4	20.3	7.0	14.6	5.4	12.1	15.5	1.9
科学光学機器	7.4	15.6	9.5	10.5	▲1.3	3.4	2.4	0.1

米国向け輸出金額 内訳								
	2023/12	2024/01	2024/02	2024/03	2024/04	2024/05		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	20.2	15.6	18.4	8.5	8.8	23.9	100.0	23.9
食料品	22.7	8.7	31.2	21.2	20.5	26.5	1.0	0.3
原料品	▲17.3	▲14.4	▲15.3	▲3.8	2.0	▲0.0	0.4	▲0.0
鉱物性燃料	19.1	51.2	▲87.6	▲59.8	▲55.2	▲40.3	0.3	▲0.3
化学製品	22.5	22.3	7.1	▲12.9	▲13.1	46.3	8.4	3.3
原料別製品	▲0.2	▲1.4	7.7	4.3	5.2	8.3	6.3	0.6
鉄鋼	▲8.5	▲7.7	▲5.6	▲2.3	4.5	▲5.8	1.4	▲0.1
非鉄金属	▲22.2	▲29.6	▲10.5	▲4.4	▲4.6	11.8	0.8	0.1
金属製品	21.1	6.8	31.7	34.2	21.1	28.7	1.3	0.4
一般機械	6.4	5.4	11.2	8.7	1.3	13.1	22.2	3.2
電気機器	4.3	1.4	15.6	10.9	0.0	24.0	13.3	3.2
半導体等電子部品	0.1	2.5	11.0	2.0	2.4	18.9	1.3	0.3
I C	21.5	7.3	26.0	9.8	▲6.0	13.0	0.6	0.1
映像機器	▲8.6	▲6.5	▲17.0	▲7.4	▲38.4			
映像記録・再生機器	3.8	26.2	31.4	18.4	▲28.6	▲5.4	0.4	▲0.0
音響・映像機器の部分品	71.6	57.5	17.2	15.7	14.6	18.3	0.2	0.0
電気回路等の機器	0.3	3.0	13.4	11.6	5.4	10.6	1.2	0.1
輸送用機器	40.7	36.5	36.9	15.2	25.5	35.8	36.7	12.0
自動車	39.8	32.7	31.8	9.6	26.0	34.0	28.4	8.9
自動車の部分品	35.9	43.6	57.7	47.1	20.6	38.4	5.7	2.0
その他	24.3	12.4	9.6	9.3	7.0	13.3	11.4	1.7
科学光学機器	21.7	5.3	15.0	10.1	3.2	5.7	2.3	0.2

EU向け輸出金額 内訳								
	2023/12	2024/01	2024/02	2024/03	2024/04	2024/05		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	10.3	13.8	14.6	3.0	▲2.0	▲10.1	100.0	▲10.1
食料品	21.7	5.8	12.8	29.6	18.8	41.3	0.8	0.2
原料品	13.4	41.4	30.1	13.4	41.2	22.7	1.2	0.2
鉱物性燃料	▲76.9	95.4	▲50.1	▲16.8	▲29.2	▲90.0	0.1	▲0.5
化学製品	8.7	▲2.7	13.6	20.0	1.9	15.2	13.2	1.6
原料別製品	▲3.5	▲6.9	7.9	▲8.3	13.2	▲27.0	8.2	▲2.7
鉄鋼	▲7.8	18.2	▲6.2	▲32.3	44.8	▲61.2	1.9	▲2.7
非鉄金属	▲23.1	▲53.0	▲8.0	▲34.3	▲23.7	▲34.3	0.9	▲0.4
金属製品	5.7	9.5	21.9	10.2	5.8	3.7	1.6	0.1
一般機械	▲15.6	▲4.7	▲3.8	▲4.4	▲17.8	▲19.8	19.8	▲4.4
電気機器	4.4	3.1	7.7	7.8	▲6.1	4.9	17.4	0.7
半導体等電子部品	5.1	7.2	▲1.3	7.1	▲17.0	1.7	2.3	0.0
I C	▲4.2	▲7.8	▲15.2	2.3	▲28.2	▲16.9	0.7	▲0.1
映像機器	▲11.6	3.6	▲8.8	▲17.5	20.3			
映像記録・再生機器	▲9.8	29.5	7.6	▲3.3	34.8	15.2	1.0	0.1
音響・映像機器の部分品	▲43.3	5.7	21.1	0.4	27.8	42.0	0.1	0.0
電気回路等の機器	0.8	▲3.2	▲3.7	▲3.2	▲15.7	▲10.0	1.6	▲0.2
輸送用機器	53.8	59.0	41.1	1.1	▲0.7	▲28.1	20.5	▲7.2
自動車	75.3	83.5	51.3	2.5	7.4	▲36.9	12.6	▲6.6
自動車の部分品	56.4	72.4	38.5	4.8	▲8.7	▲7.7	4.6	▲0.3
その他	14.6	11.1	12.5	6.4	9.6	13.3	18.8	2.0
科学光学機器	11.8	18.3	15.2	4.7	10.1	3.4	4.6	0.1

(注) 小数点の丸め方による影響で公表資料と完全には一致しない項目がある。映像機器は、速報時点では公表されない。

(出所) 財務省統計より大和総研作成

アジア向け輸出金額 内訳								
	2023/12	2024/01	2024/02	2024/03	2024/04	2024/05		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	3.0	13.5	2.3	6.6	9.7	13.6	100.0	13.6
食料品	▲13.3	16.0	▲16.0	▲14.8	▲16.0	▲16.4	1.3	▲0.3
原料品	31.5	18.0	21.4	6.1	15.8	17.4	2.9	0.5
鉱物性燃料	▲14.2	▲34.1	▲21.0	8.6	60.2	▲16.9	1.4	▲0.3
化学製品	▲2.5	15.1	1.3	4.8	5.5	17.1	15.2	2.5
原料別製品	0.1	12.4	3.7	2.4	8.9	11.4	15.3	1.8
鉄鋼	▲7.3	2.3	0.1	▲3.7	▲2.5	3.1	5.9	0.2
非鉄金属	4.1	23.0	7.8	6.6	25.1	21.7	4.5	0.9
金属製品	4.8	20.2	3.2	6.0	8.7	8.6	1.4	0.1
一般機械	5.3	11.5	0.5	2.6	11.7	17.1	17.7	2.9
電気機器	▲0.1	9.8	3.7	8.8	13.2	16.5	20.8	3.3
半導体等電子部品	0.5	8.7	5.9	11.7	24.1	25.8	9.8	2.3
I C	5.2	11.7	10.4	16.0	33.6	34.2	7.8	2.3
映像機器	▲2.0	27.4	33.6	26.8	19.0			
映像記録・再生機器	12.3	▲2.6	16.3	▲2.1	▲7.1	▲0.2	0.3	▲0.0
音響・映像機器の部分品	▲1.8	7.5	▲5.4	1.2	9.3	29.3	0.3	0.1
電気回路等の機器	▲9.7	▲6.0	▲5.3	▲2.1	2.2	9.7	2.7	0.3
輸送用機器	28.0	23.3	1.9	12.5	20.8	12.4	7.8	1.0
自動車	45.5	53.5	10.3	22.2	28.5	23.0	4.9	1.0
自動車の部分品	3.2	2.6	▲0.4	▲7.5	▲0.0	▲5.2	2.2	▲0.1
その他	2.3	25.2	3.8	13.2	1.8	12.0	17.8	2.2
科学光学機器	1.8	21.4	6.2	12.8	▲6.4	1.3	2.5	0.0

中国向け輸出金額 内訳								
	2023/12	2024/01	2024/02	2024/03	2024/04	2024/05		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	9.5	29.2	2.5	12.6	9.6	17.8	100.0	17.8
食料品	▲46.7	▲22.2	▲58.8	▲56.2	▲56.8	▲55.8	0.7	▲1.0
原料品	36.9	47.8	11.7	20.6	26.9	21.6	3.1	0.6
鉱物性燃料	50.6	64.9	▲30.9	27.7	▲7.6	▲9.8	0.6	▲0.1
化学製品	▲2.2	27.3	▲0.5	3.1	6.1	15.3	18.1	2.8
原料別製品	1.4	27.0	▲2.3	10.6	15.4	30.8	13.4	3.7
鉄鋼	▲13.1	▲0.6	▲6.5	21.1	2.4	12.4	3.1	0.4
非鉄金属	11.1	51.1	2.6	7.9	31.4	74.1	5.6	2.8
金属製品	2.3	30.8	▲3.2	11.3	6.4	4.5	1.4	0.1
一般機械	33.8	34.1	17.4	20.0	20.5	37.6	24.9	8.0
電気機器	▲7.1	9.7	0.0	6.0	7.4	5.9	19.5	1.3
半導体等電子部品	▲22.0	▲6.7	▲4.3	▲1.6	17.1	3.0	7.1	0.2
I C	▲29.2	▲17.2	▲7.0	▲6.7	22.0	1.9	5.3	0.1
映像機器	▲13.9	24.3	38.5	51.0	24.7			
映像記録・再生機器	17.6	▲51.2	28.9	1.4	▲10.6	▲10.8	0.4	▲0.1
音響・映像機器の部分品	▲20.8	▲8.7	▲36.2	▲23.0	▲10.1	24.0	0.2	0.0
電気回路等の機器	▲4.9	▲0.2	▲6.3	▲1.5	5.9	13.1	2.9	0.4
輸送用機器	54.8	80.4	24.4	46.8	22.5	12.4	7.4	1.0
自動車	78.7	111.4	22.5	120.6	36.0	23.4	5.2	1.2
自動車の部分品	15.4	29.4	22.5	▲12.1	▲3.4	▲12.8	1.9	▲0.3
その他	▲1.4	39.9	▲12.7	16.3	▲4.3	10.8	12.4	1.4
科学光学機器	8.9	37.0	1.6	27.6	13.0	21.0	3.3	0.7

(注) 小数点の丸め方による影響で公表資料と完全には一致しない項目がある。映像機器は、速報時点では公表されない。

(出所) 財務省統計より大和総研作成